

## 第 50 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 26 年 12 月 17 日 (水) 15:30~16:00
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3C
- 出席者 :
  - 〔学外委員〕  
小野委員、工藤委員、嶋津委員、中邨委員、林委員、早房委員
  - 〔学内委員〕  
白石学長、大山理事、金本副学長、園部副学長、増山副学長、横道副学長、北岡学長特別補佐、今野学長特別補佐
  - 〔説明者〕  
塩原大学運営局長
- 欠席者 :
  - 〔学外委員〕 石田委員、老川委員、加藤委員
  - 〔学内委員〕 なし

### I. 審議事項

#### 1. 平成 25 年度決算剰余金の承認と利益処分について

資料に基づき、塩原大学運営局長から、平成25年度決算剰余金について、平成26年10月31日付で満額繰越承認されたこと、及び承認を受けた剰余金満額を目的積立金として積み増しする旨説明があり、これを了承した。

#### 2. 目的積立金の支出について

資料に基づき、塩原大学運営局長から、今期中期目標期間における本学の目的積立金は、平成 26 年度末現在で約 4 億円程度となる見込みであり、その有効な活用方法について研究教育基盤の整備に関する検討委員会において 3 回にわたる検討が行われたこと、その結果を踏まえて、中規模・大規模教室の整備、アクティブラーニング教室の整備、及びゲストハウス機能の充実（1 階宿泊室の改修及び周辺施設の整備）のために、目的積立金 110 百万円を取り崩す旨説明があり、これを了承した。また、今後の執行計画として、キャンパスネットワーク構築費等の支払い及び教育支援システムの開発（オンライン出願等に係る新システムの導入）等について検討を進めていくこととしており、キャンパスネットワーク構築費については、今後、業者との交渉結果に応じて必要額を取り崩すことを予め承願したい旨説明があり、これを了承した。

#### 3. その他

特になし。

### II. 報告事項

#### 1. 研究教育基盤の整備に関する検討委員会報告について

資料に基づき、横道副学長から、研究教育基盤の整備に関する検討委員会のもう 1 つの検討課題である「中長期的な施設整備の在り方」について、同委員会における検討結果の概要の報告があった。その後小野委員から、資料に基づき、同検討委員会における同委員のレポート（「今後の展開と環境整備」）について報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

○：政策研究における知の交流拠点施設とは、新しい建物を建てるということか。

- △：その通りである。現在のキャンパスの空いている土地にチャンスがあればそのような建物を建てたい。空いている土地は本学が所有しているものであり、現在の校舎を建てた際にも、将来的には更に建物を建てていきたいという計画であった。
- ：有効な土地の活用を考えると、大学の機能のみではなく、その機能を担い続けるための収益事業を入れておく方が良い。
- ：他の学校で同様の取組を見たことがあるが、GRIPS にふさわしい収益事業をどのように維持・発展させるかが非常に重要である。
- ：大学周辺の施設との関係も十分に考慮すべきである。
- ：地元の了解も必ず必要である。
- △：本件については、本格的に動き出す際にまたご相談させていただきたい。

## 2. その他

特になし。

以上。